

『沖繩市史等』発刊資料の紹介

No	書名	発行年月	内容	価格
1	沖繩市史 第二巻 文献資料にみる歴史	昭和59年3月 (1984.3)	古文書や碑文など、本市に関する基本的な文献資料を網羅。	¥1,500
2	沖繩市史 第三巻 民俗編 -CD版-	平成27年3月 (2015.3)	沖繩市の民俗文化を読み解く、待望の資料編。CD版は2枚組構成(DVD付属)で、各字の屋号地図や概況などの情報が満載。DVDには本市のくらしや芸能、祭祀映像資料を収録。また冊子版は、CD版のエキスを凝縮した内容となっている。	¥2,000
3	沖繩市史 第三巻 民俗編 -冊子版-			¥1,000
4	沖繩市史 第四巻 自然・地理・考古編 (自然編)	平成19年3月 (2007.3)	沖繩市の地形・地質、動植物等を全般的に網羅。多様な自然環境を持つ本市の生物相を明らかにした資料編。	¥2,000
5	沖繩市史 第四巻 自然・地理・考古編 (地理・考古編)	平成20年3月 (2008.3)	主立った市内出土の遺物や基本的な集落図を可能な限り収録し、考古学及び地理学上、沖繩市を体系的に捉えた初の一冊。	¥2,000
6	沖繩市史 第五巻 戦争編 -冊子版-	令和元年9月 (2019.9)	当時の作戦記録、新聞、最新の沖繩戦研究、そして一人ひとりが語る「戦さ世」証言等々、多方面から「沖繩市の沖繩戦」を解明した論述編。	¥2,000
7	沖繩市史 第五巻 戦争編 -CD版-	令和2年3月 (2020.3)	市民の戦争体験証言をはじめ地域ごとの戦時読史地図や戦災・戦没状況調査、日本軍文書など約1600頁相当の資料(PDF形式)を収録。加えて付属DVDでは、6名の証言と当時の米軍記録フィルムを映像で収録。「冊子版」と併せて市民の「戦さ世」を語り、記し、伝える。	¥2,000
8	沖繩市史 第七巻・上 近代統計書にみる歴史	平成2年3月 (1990.3)	明治13年～昭和15年までの統計資料より、内務・産業・教育・警察・衛生など沖繩市の全データを収録。	¥1,500
9	沖繩市史 第七巻・下 近代統計書にみる歴史	平成9年3月 (1997.3)	『第七巻・上』に収録したデータを基に、分析・検討を加え、グラフや図なども駆使して、近代期の本市の姿を描き出す。	¥2,700
10	沖繩市史 第八巻・上 近代期の新聞にみる歴史	昭和61年11月 (1986.11)	明治31年～同44年の新聞から、越来・美里間切(村)関係記事を全件収録。	¥1,500
11	沖繩市史 第八巻・下 近代期の新聞にみる歴史	昭和63年3月 (1988.3)	明治45年～昭和20年の新聞から、越来・美里村関係記事を全件収録。	¥1,500
12	沖繩市史 第八巻・附録 近代期の新聞にみる歴史	平成2年3月 (1990.3)	『第八巻・上/下』活用の手引きとして、またその理解を深める手助けとして、総索引・用語解説・年表などを収録。	¥700
13	沖繩市史 第九巻 戦後新聞編	平成25年3月 (2013.3)	沖繩県内の戦後新聞4紙から、約39万件の沖繩市関係記事の見出しと記事中の市関係用語が収録されている。昭和20年から昭和49年までを対象としており、沖繩市(旧越来村と美里村、コザ市を含む)関係の記事見出しと、人名・地名・施設名等が網羅されている。『沖繩市史』の発刊としては初めてのCD版である。	¥1,000
14	沖繩市史資料集・1 間切公事帳の世界	初版:昭和62年3月 (1987.3) 二版:平成元年3月 (1989.3)	近世における王府行政の業務の様子から、当時の越来・美里の生活をみることで大変貴重な資料。	¥500
15	沖繩市史資料集・4(改訂版) ロックとコザ	平成10年3月 (1998.3)	初版本に再検証を加えて発刊。特に、カッチャんの証言が一刷新した。	¥1,500
16	沖繩市史資料集・6 美里からの戦さ世証言	平成10年3月 (1998.3)	本市が初めて発刊した戦争体験集。米軍の本島上陸から数日後に、字美里で「集団自決」が発生。何故か？	¥1,800
17	KOZAの本・2 米国が見たコザ暴動	平成11年3月 (1999.3)	米国公文書館から入手した、米国側からのコザ暴動の記録。コザ暴動報告書の他、各関係機関の文書・海外マスコミの反響などを収録。	¥2,000
18	KOZAの本・3 アメリカは何故、沖繩を 日本から切り離したか	平成11年8月 (1999.8)	沖繩が日本から切り離されていった過程を、国際情勢・米国の軍部と国務省の対立・日本/沖繩側の対応などから分かりやすく語る。	¥500

No	書名	発行年月	内容	価格
19	KOZAの本・4 21歳のアメリカ将校が見た 終戦直後の沖縄	平成17年3月 (2005.3)	57年ぶりに来市したバースオフ氏の講演録、100枚余の寄贈写真、そして付録にはコザキャンプの人口など、盛り沢山の内容で戦後直後の沖縄市に迫る一冊。	¥1,000
20	沖縄市戦後文化資料展示室 「ヒストリート」ガイドブック 2010年度版	平成23年2月 (2011.2)	2008年版の内容に、報道写真家・石川文洋氏の戦後沖縄やベトナム戦争の写真および村瀬春樹、ゆみこ・ながい・むらせ両氏提供のメソコなどの追加資料を紹介。	¥500
21	沖縄市戦後文化資料展示館 「ヒストリート」ガイドブック 2019年度版	令和2年3月 (2020.3)	ヒストリート移転後の初のガイドブック。戦争によって一変した本市は、個性的なあゆみをみせてきました。その個性あふれる歴史や文化を紹介。	¥500
22	コザ市史	昭和49年2月 (1974.2)	通史編。近世からコザ市政までのあゆみを克明にまとめた歴史書。	¥2,000
23	エイサー360°	平成10年3月 (1998.3)	エイサーに関するいろいろな情報が盛り込まれた歴史書。まさにエイサーのバイブルとでもいうべき一冊。	¥1,800
24	クリアファイル	平成26年3月 (2014.3)	戦後のコザの街と美里の塩田を紹介。「ヒストリート」オリジナルのクリアファイル。	¥150
25	ヒストリート オリジナル・コットンバック	令和元年8月 (2019.8)	ヒストリート移転後1周年を記念したオリジナルグッズ。限定1,000個。	¥1,500
26	ヒストリート オリジナル・クリップ	令和元年8月 (2019.8)	ヒストリートオリジナルグッズ。ステンレス製 3色セット。	¥500
27	ヒストリート オリジナル・ふせん	令和元年8月 (2019.8)	ヒストリートオリジナルグッズ。7cm×7.6cm 50枚綴。	¥300
28	ヒストリート オリジナル・ポストカード②	令和元年8月 (2019.8)	ヒストリートオリジナルポストカード第2弾。1950～1980年代の本市の姿を紹介。10種類セットで500円も好評販売中。	¥50
29	KOZA BUNKA BOX 創刊号	初版:平成10年3月 (1998.3) 二版:平成23年3月 (2011.3)	戦後史の歩みを検証した書。「基地の街」コザの溢れんばかりの文化資源を満載。	¥500
30	KOZA BUNKA BOX 第2号	平成12年3月 (2000.3)	戦後史の歩みを検証した書の第2弾。今回もコザの様々な魅力を紹介。	¥700
31	KOZA BUNKA BOX 第3号	平成19年3月 (2007.3)	戦後史の歩みを検証した書、第3弾。今回は、本市における戦後史のさらなる展開を考え、また我がまちの特有性を掘り起こした。	¥700
32	KOZA BUNKA BOX 第4号	平成20年3月 (2008.3)	USCAR文書から米軍がAサイン制度やオブリミッツをどうみていたかを知り、「外人住宅」が沖縄におよぼした様々な影響をみる。	¥700
33	KOZA BUNKA BOX 第5号	平成21年3月 (2009.3)	戦後沖縄市の文化や歴史、経済についての論考を集めた書。「コザ暴動」捜査体験記や基地所在自治体である沖縄市、北谷町、読谷村の基地返還と街づくりを比較。	¥700
34	KOZA BUNKA BOX 第6号	平成22年3月 (2010.3)	南米調査の成果を踏まえ、移民輩出地・沖縄市の戦後移民の状況を探る。また各資料から終戦後の「軍作業」に迫り、民族移動によってできた「コザ」の様子を概観。	¥700
35	KOZA BUNKA BOX 第7号	平成23年3月 (2011.3)	「コザ暴動」40周年の特集号。元報道関係者、研究者らがそれぞれの観点から「コザ暴動」を検証。また「負の遺産」を再利用し生活用具を生み出した鍛冶・鉄工業やナービヤー（鋳物工場）の発展から、戦後復興の様子をみる。	¥700
36	KOZA BUNKA BOX 第8号	平成24年3月 (2012.3)	「毒ガス移送」40周年の特集号。初公開！毒ガス処理に関わったウチナンチュの証言、各資料から毒ガス移送を振り返る。また1950年代の壮大なビジネスセンター構想とは何か？さらにコザの街に影響を与えたスーベニア業（土産品店）についてなど様々な情報が満載の一冊。	¥700

No	書名	発行年月	内容	価格
37	KOZA BUNKA BOX 第9号	平成25年3月 (2013.3)	沖縄本土復帰40周年の特集号。ビジネスセンター通り会、広告業、福祉行政、保育や医療など、様々なジャンルの人々の証言を基に沖縄市にとって復帰とは何かを、改めて考える。さらに、ビジネスセンター都市計画以前の地形景観やスーパー業の変遷を考察したローカルレポートも掲載。都市の記憶を読み解く、充実の9号。	¥700
38	KOZA BUNKA BOX 第10号	平成26年3月 (2014.3)	米軍の機密文書「沖縄の基地外歓楽街における人種的緊張」を掲載。この資料から基地外歓楽街であった黒人と白人の対立などが浮かび上がってくる。さらに、コザ孤児院の歴史的意義をレポートした第10号。	¥700
39	KOZA BUNKA BOX 第11号	平成27年3月 (2015.3)	波乱万丈の合併協議、合併をめぐる市民の期待と不安、沖縄市の誕生と今日までのあゆみを、当時を知る人々の証言や写真、モノ、行政文書など豊富な資料で紹介。カラーページも拡大の市制施行40周年特別号。	¥700
40	KOZA BUNKA BOX 第12号	平成28年2月 (2016.2)	「降伏調印・終戦70周年」の特集号。史資料・証言・論考などから、沖縄戦および琉球列島(南西諸島)の降伏調印を検証する。戦後「基地の街」として特異な発展を遂げ、「コザ文化」を創出した我がまちの出発点とは?公式な「沖縄戦終結の日」に迫る。	¥700
41	KOZA BUNKA BOX 第13号	平成29年3月 (2017.3)	イヌヤミ収容所が公式開所されて70周年、広島東洋カープの沖縄(市)キャンプ開始35周年を記念した特集号。また、「基地都市コザにおける歓楽街『センター通り』の商業環境」は、「基地依存経済」ではなく基地が依存し創出した空間としての歓楽街という新たな視点でコザにおける歓楽街を捉えた論文である。	¥700
42	KOZA BUNKA BOX 第14号	平成30年3月 (2018.3)	ヒストリート移転を機に、新たな視点から「コザ」を描写した内容である。本市中心市街地の形成、楽器店の成り立ちとその背景、シリーズとしての「コザ」の産業—移住外国人(インド人)によるテーラー等を対象に「コザ」の素顔を描く。さらに戦後における米軍基地のまちの形成という、コザと様相を同じくする韓国の基地のまち(ピョンテク市)にスポットを当てた論文を掲載。	¥700
43	KOZA BUNKA BOX 第15号	平成31年3月 (2019.3)	沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリートの移転先であるコザゲート通りの特集号。現在も多くの米兵・軍属が往来し、最も「コザ」らしさを感じさせるコザゲート通りの変遷、特色を英文資料や証言、論文等で徹底解明した。	¥700
44	KOZA BUNKA BOX 第16号	令和2年3月 (2020.3)	「沖縄市史 第五巻 戦争編」刊行の一環で「帰村と戦後復興」をテーマとした一冊。帰村や戦後復興に関する論文・英文資料・証言の他、テーマの前史となる『戦争編』の内容を解説したローカルレポートを収録。また、精力的に沖縄取材を続ける報道写真家・石川文洋氏の「コザ」に関わる寄稿文を掲載。	¥700
45	KOZA BUNKA BOX 第17号	令和3年3月 (2021.3)	「コザ暴動」50周年の特集号。事件は、後の日本や沖縄社会、そして米国本土にどのようなインパクトを与えたのか。「事件その後」に焦点を当てて考える。また地理学の面から、新たな視点でコザの街の空間形成を考える論考も掲載。	¥700
46	KOZA BUNKA BOX 第18号	令和4年3月 (2022.3)	「毒ガス移送」特集号。米国が毒ガスを沖縄に配備した背景や、本土復帰目前の日米両政府との間で揺れ動く琉球政府の動きについての2本の論考、ランパート高等弁務官のインタビュー記事(毒ガス関係)や報道カメラマン、地元住民の証言から「毒ガス移送」に迫る。	¥700

No	書名	発行年月	内容	価格
47	KOZA BUNKA BOX 第19号	令和5年3月 (2023.3)	復帰50年の特集号。戦後、「基地の門前町」として発展した本市が、復帰を機に基地経済から自立経済に転換をはかっていく背景や動き、脱基地経済によって商業景観が変容したセンター通りについての2本の論考、沖縄返還に対する日米首脳会談の会議録や地元住民の証言など、本土復帰に関する様々な情報を収録した一冊。	¥700
48	KOZA BUNKA BOX 第20号	令和6年3月 (2024.3)	戦後沖縄料理の代表格の一つにまでなったオキナワントコス・タコライスの成立を、料理人と消費者(地元住民・米兵)のすがたを追いつつ、「ハイブリッド文化」の視点から考察する。また、「ローカルレポート」では、明道自治会寄贈の戦後資料から、1946年戦後復興期の地域と人びとを描く。英文資料紹介では、米軍による飲食営業許可制度「Aサイン」の運用を実際の米軍文書から解説。	¥700

問い合わせ

沖縄市役所 総務部総務課・市史編集担当 ☎098-939-1212(内線2274・2275)

沖縄市戦後文化資料展示館「ヒストリート」☎098-929-2922